

アタッチメントとトラウマの問題に対する 親子2世代への介入

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:2017年7月1日~2022年6月30日 承認番号:W29111>

期 日:2019年12月14日(土)~15日(日)

受講対象:教育・医療・相談・福祉・保育の各機関・現場等で子どもにかかわる
専門家の方々、ならびに大学生・大学院生など本テーマに関心のある方

定 員:120名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料:13,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主 催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

会 場:天神クリスタルビル 大ホール

福岡市中央区天神4丁目6番7号 ※詳細地図は受講証に添付いたします

西鉄福岡(天神)駅北口より徒歩7分/地下鉄天神駅(東1a・b出口)より徒歩4分

講師陣ご紹介

*** ご企画 // 山下 洋 先生:九州大学病院子どものこころの診療部 特任講師 ***

木谷 秀勝 先生:山口大学教育学部附属教育実践総合センター 教授

杉山 登志郎 先生:福井大学子どものこころの発達研究センター 客員教授

友田 明美 先生:福井大学子どものこころの発達研究センター 発達支援研究部門 教授

嶺 輝子 先生:アースシー・ヒーリング・セラピー 主宰

八木 淳子 先生:岩手医科大学医学部神経精神科学講座 講師
いわてこどもケアセンター 副センター長

(50音順)

発達早期におけるアタッチメントやトラウマの問題への介入はライフコースの視点を得て、発達障がいと並ぶ最も重要な臨床課題となった。トラウマからの回復と予防に向けて様々な治療技法や包括的な介入システムが開発され、地域社会からアクセスできる資源として実装されつつある。

本講座では発達とライフコースの視点から発達障がいとトラウマの臨床を多角的に捉え、親子2世代へのアプローチとして不適切養育の世代間伝達を予防するレジリエントな文化の創造に向かう実践と研究の最先端を紹介したい。 【九州大学病院子どものこころの診療部:山下 洋】

<プログラム>

日程	時間	テーマ	講師(敬称略)
12月14日(土)	13:00~14:30	アタッチメントとトラウマの問題に対する親子2世代のアプローチ ~エビデンスと臨床~	山下 洋
	14:45~16:15	地域社会におけるトラウマインフォームドケア(TIC) 大災害後の子どもの育ち	八木 淳子
	16:30~18:00	発達障害のある女の子・女性の支援におけるトラウマの問題	木谷 秀勝
12月15日(日)	9:00~10:30	子ども虐待と脳科学 アタッチメントの視点から	友田 明美
	10:45~12:15	トラウマ臨床における親子2世代への治療	杉山 登志郎
	12:15~13:15	昼 食 (各自おとりください)	
	13:15~14:45	子ども虐待への介入におけるホログラフィック・トークの有用性(仮)	嶺 輝子
	15:00~16:30	シンポジウム(総合討論)	全 講 師

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。